



あら お ひ がた  
荒尾干潟

生きものハンドブック



Saiunkan Jishu Kaikan

公益財団法人

守る、つなげる、共に生きる。——

再春館「一本の木」財団

● 干潟 <small>ひがた</small> ってどんなところ? . . . . . 1	● 干潟 <small>ひがた</small> にでかけよう! . . . . . 2
● 干潟 <small>ひがた</small> の生きものがあふない! . . . . . 1	● 生きものをみつけよう! . . . . . 3
■ 干潟 <small>ひがた</small> の生きもの図鑑 <small>ずかん</small> . . . . . 4	



### カニ・エビのなかま . . . . . 5

・タテジマフジツボ . . . . . 5	・ヤマトオサガニ . . . . . 8
・サラサフジツボ . . . . . 5	・オサガニ . . . . . 8
・ユビナガホンヤドカリ . . . . . 5	
・テッポウエビのなかま . . . . . 6	<b>トピック</b>
・アナジャコ . . . . . 6	・フジツボはカニのなかま!? . . . 5
・ケフサイソガニ . . . . . 6	・【ケフサイソガニ】と
・アリアケガニ . . . . . 7	【タカノケフサイソガニ】 . . . 6
・アシハラガニ . . . . . 7	・カニのオス・メス . . . . . 7
・コメツキガニ . . . . . 7	・潮 <small>しほ</small> だまりでみられるカニ
	マメコブシガニとヘイケガニ . . . 8
	・カニの大きさをくらべ (実物大) . 9



### 貝かいのなかま . . . . . 11

・テリザクラガイ . . . . . 11	・タマキビガイ . . . . . 13
・コケガラスガイ . . . . . 11	・マルウスラタマキビ . . . . . 13
・ウネナシトマヤガイ . . . . . 11	・アズキカワザンショウ . . . . . 13
・マテガイ . . . . . 11	・イボニシ . . . . . 14
・マガキ . . . . . 11	・スガイ . . . . . 14
・アサリ . . . . . 12	・オカミミガイ . . . . . 14
・シオフキガイ . . . . . 12	・アラムシロガイ . . . . . 14
・ハマグリ . . . . . 12	・フトヘナタリ . . . . . 14
・オキシジミ . . . . . 12	・シマヘナタリ . . . . . 14
・カガミガイ . . . . . 12	・クロヘナタリ . . . . . 14
・アカニシ . . . . . 13	<b>トピック</b>
・ウミニナ . . . . . 13	・貝につく貝 (ツボミガイ) . . . 13
・ホソウミニナ . . . . . 13	・フトヘナタリのなかま . . . . . 14
・サキグロタマツメタ . . . . . 13	



### そのほかの生きもの . . . . . 15

・ツバサゴカイ . . . . . 15	・トゲイカリナマコ . . . . . 16
・ミズヒキゴカイ . . . . . 15	・タテジマイソギンチャク . . . 16
・フサゴカイのなかま . . . . . 15	・イシワケイソギンチャク . . . 16
・ムギワラムシ . . . . . 16	・ミドリシヤミセンガイ . . . . . 16



### 魚いしのなかま . . . . . 17

・シモフリシマハゼ . . . . . 17	・トビハゼ . . . . . 19
・シラヌイハゼ . . . . . 17	・ムツゴロウ . . . . . 19
・スジハゼ . . . . . 17	<b>トピック</b>
・キセルハゼ . . . . . 18	・干潟 <small>ひがた</small> のまわりでみられる魚
・ヒモハゼ . . . . . 18	【サツバ】【セスジボラ】 . . . 17
・ショウキハゼ . . . . . 18	【ヒラギ】【コショウダイ】 . 18
・シロチチブ . . . . . 18	・水でも陸でも生活する魚 . . . . . 19



### 鳥とりのなかま . . . . . 20

・ミサゴ . . . . . 20	・ミユビシギ . . . . . 24
・アオサギ . . . . . 21	・キアシシギ . . . . . 24
・ダイサギ . . . . . 21	・チュウシャクシギ . . . . . 25
・クロツラヘラサギ . . . . . 21	・メダイチドリ . . . . . 25
・マガモ . . . . . 22	・シロチドリ . . . . . 25
・ヒドリガモ . . . . . 22	・ダイゼン . . . . . 25
・スズガモ . . . . . 22	・ズグロカモメ . . . . . 26
・キョウジョシギ . . . . . 23	・ユリカモメ . . . . . 26
・ソリハシシギ . . . . . 23	<b>トピック</b>
・オオソリハシシギ . . . . . 23	・トビ . . . . . 20
・ハマシギ . . . . . 24	・そのほかカモメのなかま
・トウネン . . . . . 24	ウミネコ・セグロカモメ . . . 26



### 植物しょくぶつのなかま . . . . . 27

・ハマゴウ . . . . . 27	・オカヒジキ . . . . . 28
・ヨシ . . . . . 27	・ハマウド . . . . . 28
・ケカモノハシ . . . . . 27	・ハマヒルガオ . . . . . 28
・ホンパノハマアカザ . . . . . 28	・ツルナ . . . . . 28



### はじめに

干潟ひがたでは、カニや貝などの生きものがみられます。それらにはひとつひとつ名前がついているのですが、図鑑などがなくてなかなか調べられません。

この本は、荒尾干潟あらいひがたでみられる生きものを紹介することで、多くの人に生きものを調べる楽しさを知ってもらいたいと思いついています。



# ひがた 干潟ってどんなところ？

しほ ちほら どう すな ひがた  
潮がひくと現れる、泥や砂がたまった場所を『干潟』といいます。  
何もないようにみえる地味な場所ですが、この干潟にはカニや貝、カモなど  
たくさんの生きものがすんでいます。

# ひがた 干潟の生きものがあぶない！

ひがた  
干潟がへっている！？  
う た ひがた ひがた  
埋め立てなどによって、干潟はへっています。干潟がなくなると、ゴカイや  
貝、カニなどの干潟をすみかとする生きものが生活できなくなります。

ぜつめつ  
絶滅のおそれがある生きもの  
ぜつめつ  
県や国では、絶滅のおそれがある生きものをまとめたリストがつくられて  
います。そのリストの中には、ひがた  
干潟の生きものがたくさんっています。

ぜつめつ  
この本のなかでは、絶滅しそうな生きものに選ばれて  
いるものには☆マークをつけて紹介しています。

しほらい  
マークの種類

- ★ くまもと えら  
熊本県で選ばれている生きもの
- ★ えら  
国で選ばれている生きもの

ぜつめつ  
絶滅しそうな生きもの



★ ★  
クロツラヘラサギ



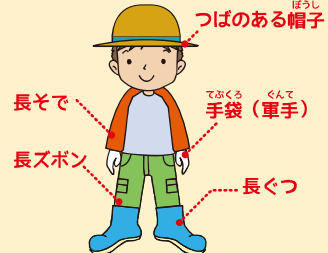
# ひがた 干潟に でかけよう！

- ひがた じゅんぴ  
干潟に行くための準備
- ひがた まんちょう かんちょう  
干潟に行く前に、その日の満潮と干潮の時間を調べましょう。
  - ひがた ぼうし  
干潟は日差しが強いので、つばのついた帽子をかぶりましょう。


## ひがた かんさつ 干潟で観察するために

### 生きものを観察する人

- ふくそう  
服装
- 貝がらなどでケガをすることがあるので、長そで・長ズボンを着ましょう。
  - 泥まみれになるので、長ぐつが汚れてもいいスニーカーをはきましょう。



### もっていくもの

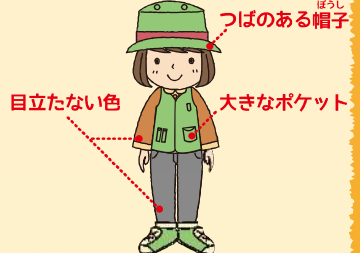
- たもあみ (net)
  - スコップ (shovel)
  - ふるい (sieve)
  - ピンセット (tweezers)
  - 図鑑 (field guide)
  - ノートなど (notebook, etc.)
- 

### 注意！

- 夏は熱中症になりやすいので、飲みものを持っていきましょう。
- 泥にはまっても抜け出せるように、ロープなどを持って行きましょう。

### バードウォッチングする人

- ふくそう  
服装
- 大きなポケットの服があると、ノートを入れられるので、便利です。
  - 鳥に見つからないように、目立たない色の服を着ましょう。



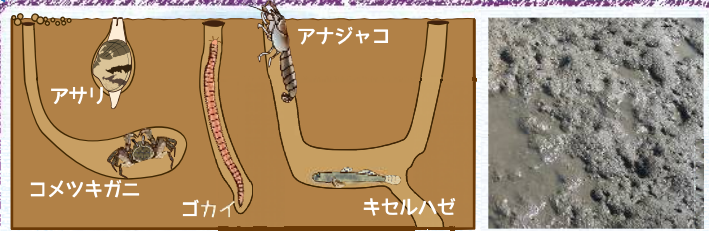
### もっていくもの

- 望遠鏡 (telescope)
  - 双眼鏡 (binoculars)
  - カメラ (camera)
  - 図鑑 (field guide)
  - ノートなど (notebook, etc.)
- 

生きものを  
みつけよう!

ひがた あな  
**干潟にあいた穴をみつけよう!**

ひがた あな すあな  
干潟には、たくさんの穴(巣穴)があいています。この  
あなの中にはカニやゴカイなどがすんでいて、すむ生きもの  
によって、穴の大きさや形がちがっています。



ひがた すあな  
干潟にあいた巣穴

**ワンポイント!**

ひがた  
干潟をよくみると、地面  
から出た管や、砂をまるめ  
た砂だんごが落ちています。  
すあな  
巣穴やそのまわりの特徴  
を観察してみましょう。



す  
ツバサゴカイの巣



すあな  
コメツキガニの砂だんご

**いろいろな場所で探そう**

ひがた すあな ひがた  
干潟には、砂と泥の場所以外にも、  
石がころがっているところ、まわりに  
草が生えているところ、水がたまった  
ところ(潮だまり)など、いろいろな  
場所があります。

それぞれの場所で、すんでいる生  
きものがどっちがうか、観察してみ  
ましょう。



ひがた すかん  
**干潟の生きもの図鑑**



**この本の使い方**

**【大きさの測り方】**  
それぞれの生きもの大きさの  
測り方を紹介しています。  
生きものを探すヒントや、出  
くるマークの紹介もしています。

干潟の生きもの 魚のなかま

**【大きさの測り方】** 魚をみつければよい測り方

魚の全長(全長)

魚をみつければよい測り方

- 潮だまり
- 潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。
- エビの巣穴
- エビの巣穴に、ハゼが隠れやすいことがよくあります。

**【生きもの写真・説明】**

生きもの全体や、みられる場所、  
特徴がわかるような写真と説明文  
をのせています。

【シモフリシマハゼ】全長: 10cm  
潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。用いし、潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。

【シラスイハゼ】全長: 5cm  
潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。用いし、潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。

**【見た目の特徴】**

生きもの見た目の特徴を、写真  
の外に赤字で説明しています。

【スジハゼ】全長: 5cm  
潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。用いし、潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。

【サツガ】全長: 2cm  
潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。用いし、潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。

【ヒメハゼ】全長: 5cm  
潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。用いし、潮が引いたあとに表が露れた魚がつかまりやすい。

**【トピック】**  
生きものに関する豆知識や、紹介できなかった生きものについてのせています。

# 干潟の生きもの カニ・エビのなかま

## 大きさの測り方

### フジツボ



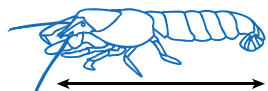
から ちよっけい  
殻の直径

### カニ



こう こうかく  
甲らの横の長さ  
(甲幅)

### エビ



頭からしっぽの先まで (体長)

タテに線が入る



から 殻は白い

【タテジマフジツボ】 大きさ：2cm  
岩やコンクリートの壁によくついてます。  
白い殻に青紫の線が入るのが特徴です。

から 殻の上側は  
ギザギザ



あみ めじよう  
網の目状  
もよう  
の模様

右のハサミが大きい

【サラサフジツボ】 大きさ：3cm  
干潟にころがっている石や貝殻についていることがあります。殻にはタテとヨコに青紫色の線が入ります。

【ユビナガホンヤドカリ】 大きさ：1cm  
干潟の浅い場所によくみられます。潮がひくと浅い所を歩き回ってエサをとります。

## トピック

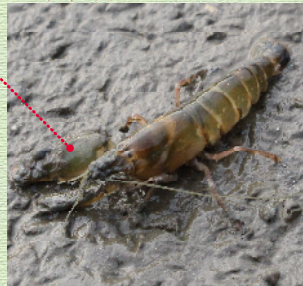
フジツボはカニのなかま！？

貝とされていることが多いですが、カニやエビと同じ、甲殻類のなかまです。

子どものときは海を泳いでいますが、大人になると岩などにくっつき、そのままだ動かなくなります。



かたほう 片方のハサミが大きい



【テッポウエビのなかま】 大きさ：5~6cm 【アナジャコ】 大きさ：9~10cm  
干潟に穴をほって、穴の中で生活しています。ハサミを急にして「パチッ」と大きな音を出します。

体は白っぽい

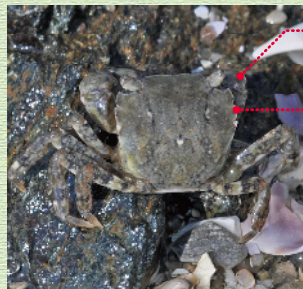


【市の魚】

左右のハサミはどちらも小さい

干潟に、深さ2mにもなるY字型の穴をほり生活しています。体はやわらかく、「マジック」と呼ばれ、食用になります。

オスのハサミの根元には、毛のフサがある



小さなギザギザが3つある

【ケフサインガニ】 大きさ：2.5~3cm  
石の多い海岸にいて、石の下にすることが多いです。オスのハサミにやわらかい毛の束がありますがメスにはありません。

## トピック

【ケフサインガニ】と

【タカノケフサインガニ】

ケフサインガニによく似たカニで、  
タカノケフサインガニというカニがいます。

見分けるのはむずかしく、オスのハサミに生えた毛の生え方や、おなかの模様様が少しちがいます。

ケフサインガニ



毛のフサが小さい



ホクロのような点

タカノケフサインガニ



毛のフサが大きい



ホクロのような点がない



# 干潟の生きもの カニ・エビのなかま

あし 脚の先が赤い



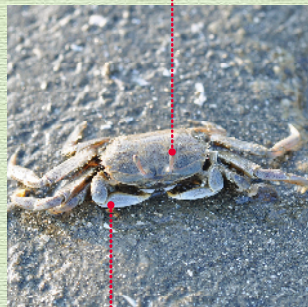
★ 体と脚に毛が生えている  
【アリアケガニ】 大きさ：1.5cm  
やわらかい泥の場所に巣穴をほって  
すみます。甲らや脚に短い毛があつて  
体は泥にまみれています。

体のまわりはオレンジ色



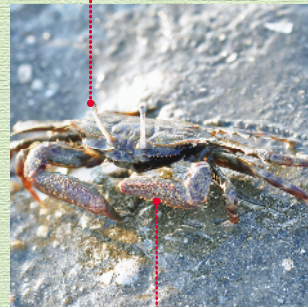
..... 大きなハサミ  
【アシハラガニ】 大きさ：3～3.5cm  
河口のヨシが生える所でみられます。  
前2本の脚に短い毛があります。

長い目



..... ハサミは白っぽい

長い目



..... ハサミにオレンジのつぶつぶ

こま 甲らはおにぎり型



もよう 模様で砂浜にとけこむ

【コメツキガニ】 大きさ：1cm  
やや砂の多い砂泥の場所に多く、巣穴を  
ほってすみます。泥の中からエサをとった  
残りは「砂だんご」にして巣穴のまわりに  
すてます。

★ オサガニの方が横長い

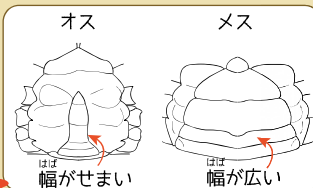
【ヤマトオサガニ】 大きさ：3.5～4cm  
やわらかい泥地にすみます。甲らが細長  
いのが特徴です。メスはオスよりハサミが  
小さいです。

【オサガニ】 大きさ：3.5～4cm  
砂のまじる泥地にすみます。甲らが細長  
いのが特徴です。メスはオスよりハサミが  
小さいです。

## トピック カニのオス・メス

カニのおなかには、「カニのふんどし」と呼ばれるフタのような場所があります。

オスはその幅がせまくなっていて、メスは、卵を抱えるため広がっています。



## トピック 潮だまりで見られるカニ (マメコブシガニとヘイケガニ)

潮だまりにはいつもとちがう生きものがみられることがあります。潮だまりで見られるかもしれないカニを2つ紹介します。

甲らは丸い



マメコブシガニ 大きさ：2cm

長い脚と短い脚がある



ヘイケガニ 大きさ：2.5cm ★

# トピック カニの大きさをくらべ（実物大）

ここでは、干潟でみられるカニの大きさをくらべと、かたちの特徴を紹介しています。干潟でつかまえたカニの種類をここで調べてください。

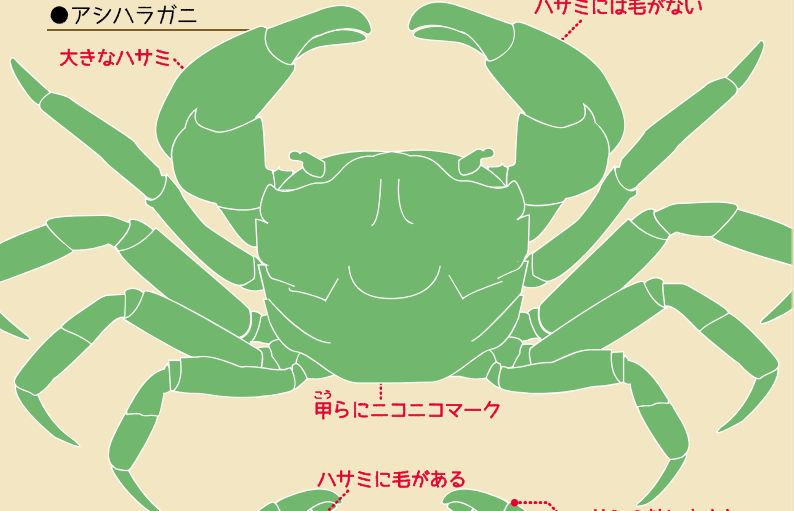


## こう 甲らが正方形

- アシハラガニ

大きなハサミ、

ハサミには毛がない



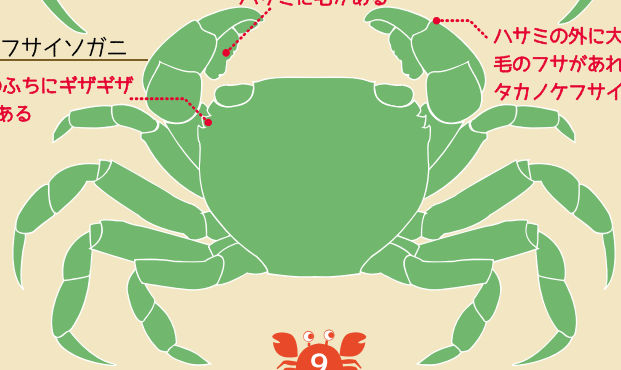
こう 甲らにニコニコマーク

- ケフサイソガニ

こう 甲らのふちにギザギザが3つある

ハサミに毛がある

ハサミの外に大きな毛のフサがあれば、タカノケフサイソガニ



## こう 甲らが六角形

- アリアケガニ

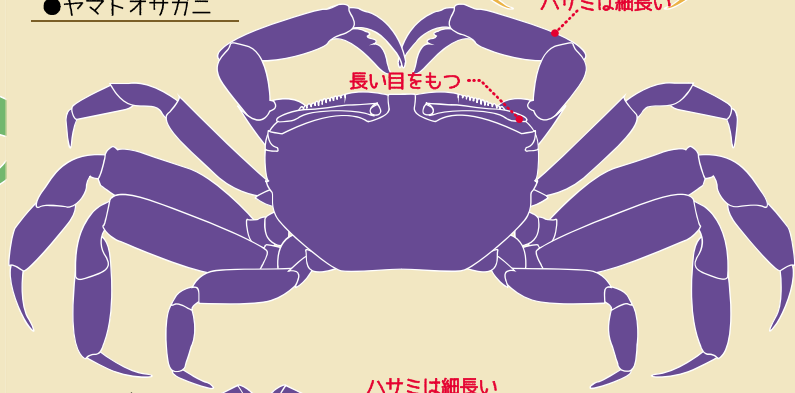
ハサミが小さい



## こう 甲らが長方形

- ヤマトオサガニ

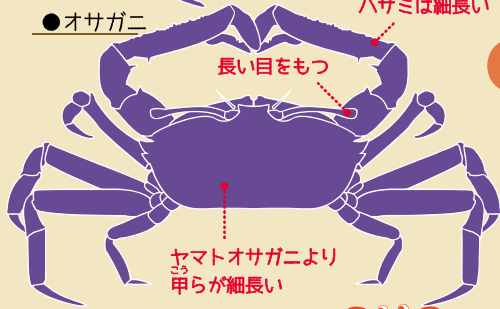
ハサミは細長い



- オサガニ

ハサミは細長い

長い目をもつ



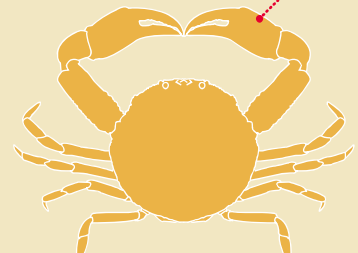
ヤマトオサガニより甲らが細長い



## こう 甲らがまるい

- マメコブシガニ

ハサミは長い



## こう 甲らがおにぎり形

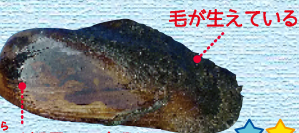
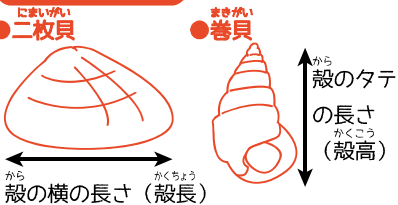
- コメツキガニ

あし脚が長い



# 干潟の生きもの 貝のなかま

## 大きさの測り方



殻は細長い三角形  
【クケガラスガイ】 殻長：5cm

殻に毛が生えている貝です。深いところにすんでいるので、あまりみられません。



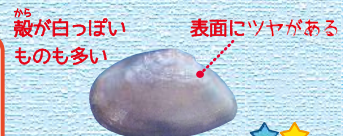
【マテガイ】 殻長：10cm

とても細長い貝です。干潟に深く30cm以上の穴をほって、その中にすんでいます。

巣穴に塩を入れると、ニュツと飛び出してくることがあります。

【マガキ】 殻長：最大20cm

食用としてよく食べられる大きな貝。干潟の岩やコンクリートの壁にくっついています。



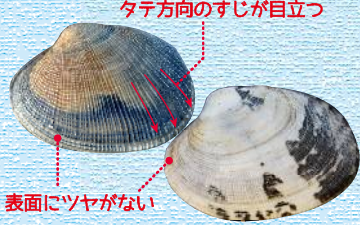
【テリザクラガイ】 殻長：2cm

うすいピンク色の小さな貝です。すこし深い場所で見られます。



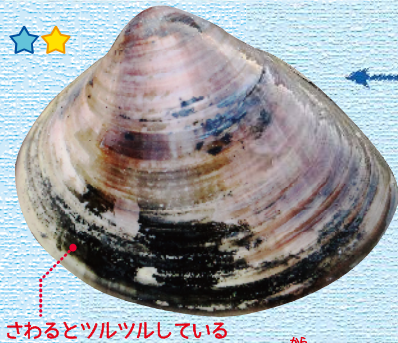
【ウネナシトマヤガイ】 殻長：3.5cm

楕円形のかたちをした貝。マガキのすまにっくつしていることがよくあります。



【アサリ】 殻長：4cm

食用として有名な貝です。干潟の砂の中にすんでいます。殻の模様は、ひとつひとつちがっています。

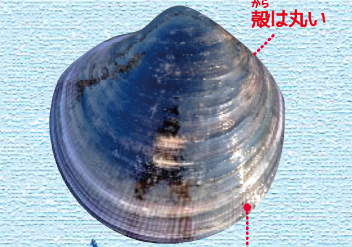


【シオフキガイ】 殻長：4~4.5cm

干潟をほると、よくみられる貝です。砂っぽい干潟にすんでいます。

【ハマグリ】 殻長：4~8.5cm

食用にされる大きな貝です。少し砂がまじった干潟で見られますが、数は少なくなっています。



【オキシジミ】 殻長：4.5~5cm

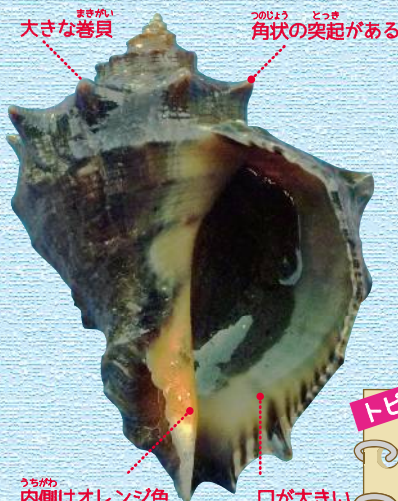
上からみると、まん丸にみえる貝。泥っぽい干潟でよくみられます。殻が白っぽいものもあります。

【カガミガイ】 殻長：5~6.5cm

丸くて大きな白い貝です。砂っぽい干潟の中にもぐっています。



# ひがた 干潟の生きもの 貝のなかま



【アカニシ】殻高：9～15cm  
砂泥の所にすみ、肉食でアサリなどの貝を食べます。



【サキグロタマツメタ】殻高：5cm  
泥の所にすみます。肉食でアサリなどの殻に穴をあけて食べます。



【ウミニナ】★  
殻高：3～3.5cm  
どちらも潮がひいた干潟の泥の上をはいまわっています。



【ホソウミニナ】  
殻高：2.5～3cm

**トピック** 貝につく貝

ウミニナや、ホソウミニナには、【ツボミガイ】という小さな巻貝がついていることがあります。

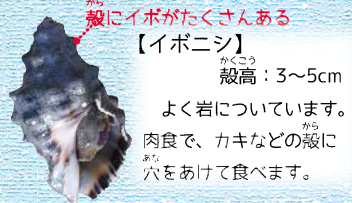
ツボミガイ



【タマキビガイ】殻高：1.5cm  
コンクリート護岸や岩の割れ目など、乾いた所についています。

【マルウズラタマキビ】  
殻高：1.5～2cm  
コンクリート護岸や岩の割れ目など、乾いた所についています。

【アズキカワザンシヨウ】  
殻高：0.7cm  
ヨシ原の泥の上や、ヨシの茎の上にあります。有明海と八代海だけで見られます。



よく岩についています。肉食で、カキなどの殻にあき穴をあけて食べます。

殻の口のまわりが耳の形に似ている

【オカミミガイ】  
殻高：2.5～3.5cm  
ヨシ原の石の間や、石の下にすんでいます。成長すると殻の先は欠けることがあります。

**トピック** フトヘナタリ類のなかま

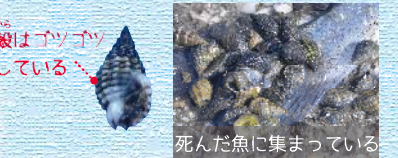
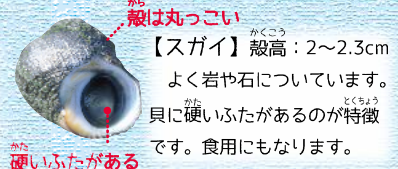
有明海の中でも、フトヘナタリ類が3種みつかるとはあまりありません。3種は殻のすじなどで見分けられます。

殻の先が欠けることがある

ヨコ方向のすじ  
タテ方向のすじ



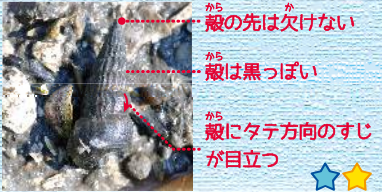
【シマヘナタリ】殻高：3.5cm  
殻の先はよく欠けています。ヨシ原の泥の上やヨシの茎にのぼっています。



【アラムシロガイ】殻高：1.5～1.7cm  
砂や砂泥の干潟をはい回り、魚の死がいなどに集まるため「海の掃除屋」と言われます。



【フトヘナタリ】殻高：3.5～4cm  
殻の先はよく欠けています。ヨシ原や岸近くの干潟にいて、ヨシなどにのぼることがあります。



【クロヘナタリ】殻高：3cm  
殻の先はあまり欠けません。泥っぽい干潟のヨシ原にすみますが、ヨシにはのぼりません。

ひがた 干潟の生きもの **そのほかの生きもの**

ほか  
大ききの測り方

●ゴカイ・ナマコ



全体の長さ(体長)

●インギンチャク



直径

●シャミセンガイ



殻の長さ(殻長)



【ツバサゴカイ】体長：10cm★  
砂や砂泥の中にもぐっています。  
U字型の巣穴をつくり、その先は  
ストローのように干潟の表面につ  
き出しています。

体は全体的に白っぽい



U字型の巣をつくる

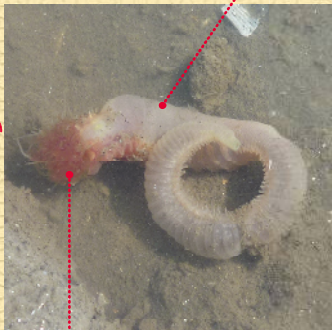
地面から巣の先が飛び出している



体は細い

糸のようなエラがある

【ミズヒキゴカイ】体長：5cm  
砂泥の中にもぐっています。細い糸  
のようなオレンジ色のエラを、水中でゆ  
らゆらさせます。



体は太い

エラがふさのようになっている

【フサゴカイのなまか】体長：5~20cm  
石のうらに砂つぶを使って管をつくり、  
その中にすみす。



巣はU字型ではなくまっすぐ  
体はちぎれやすいので注意

【ムギワラムシ】体長：20cm★  
砂の中にもぐっています。ツバサゴカイの  
ように巣の先が干潟の表面につ  
き出しています。

岩などにくっついている



オレンジ色のたてじま

【タテジマイソギンチャク】直径：1cm  
少し淡水のまじる所の岩や壁にくっつ  
ています。水の中では触手をのびします。



体は白っぽくて半透明

【トゲイカリナマコ】体長：10cm  
砂泥の中にもぐっています。巣穴に小  
さなカニのなかがまがることがあります。

地面にもぐっている



【イシワケイソギンチャク】直径：3cm  
干潟の表面にみられます。体は砂泥の中  
の貝殻などにくっついています。



殻はうすい緑色

【ミドリシャミセンガイ】殻長：3~4cm★  
砂泥の中にもぐっています。「めかじゃ」と  
呼ばれていて食用になります。

# 干潟の生きもの 魚のなかま

## 大きさの測り方



頭〜尾の先まで（全長）

## 魚を見つけやすい場所

- **潮だまり**  
潮がひいたあとに逃げ遅れた魚が見つかります。
- **エビの巣穴**  
エビの巣穴に、ハゼと一緒にすんでいることがあります。



【シモフリシマハゼ】全長：10cm

泥底の石やカキ殻の下でみられます。  
体にしま模様が入るのが特徴です。



【シラヌイハゼ】全長：3.5cm ★

砂や泥がまじった砂の地面にすみます。  
干潟の潮だまりでみられることがあります。



【スジハゼ】全長：5cm

泥や砂がまじった泥の地面にすみます。  
テッポウエビと同じ巣穴と一緒にみられるのが特徴です。

**トピック** 干潟のまわりでみられる魚

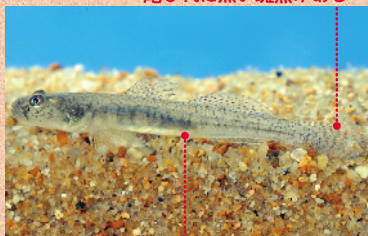
【サツパ】全長：15cm  
おなか下に出っぱる

背びれは2つ

細長い体

【セスジボラ】全長：最大30cm

尾ひれに黒い斑点がある



おなかは白い

【キセルハゼ】全長：7cm ★★

砂泥にほられたアナジャコの巣穴にすみます。日本にしかない固有種です。

細長い体

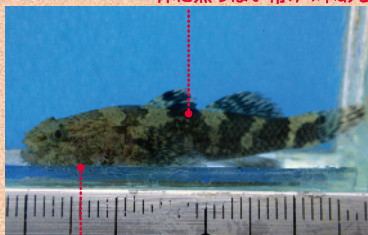


体に黒っぽい帯がある

【ヒモハゼ】全長：5cm ★

アナジャコやカニの巣穴にいます。干潟にできた潮だまりでもみられます。

体に黒っぽい帯が4本ある

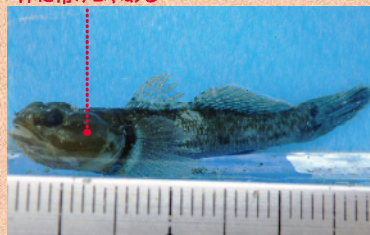


頭とあごにひげがある

【ショウキハゼ】全長：12cm ★★

砂泥の場所にすみます。産卵にはカキ殻を利用するのが特徴です。

体に帯が2本ある



【シロチチブ】全長：7cm ★★

砂泥の場所にすみます。ショウキハゼと同じように産卵にはカキ殻を利用します。

**トピック** 干潟のまわりでみられる魚

背ひれはとがる

体は平べったい

【ヒイラギ】全長：10cm

ひれと体に黒い斑点

【コショウダイ】全長：最大60cm

# 干潟の生きもの **魚のなかま**

目が飛び出ている



すなじ 砂地でもみられることがある



【トビハゼ】全長：10cm

潮がひいた泥の場所やヨシ原でみられます。ピョンピョン跳びはねて干潟を移動します。目が飛び出ているのが特徴です。

ひれを使って干潟を歩く



体とひれに青い斑点がある

目が飛び出ている



【ムツゴロウ】全長：15cm

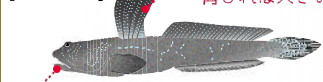
潮がひいた泥の場所でみられます。ひれを使って干潟を歩きます。目が飛び出ているのが特徴です。

ひれを使って干潟を歩く

## トピック 水でも陸でも生活する魚（ムツゴロウとトビハゼ）

- ムツゴロウとトビハゼは、魚なのに陸でよくみられます。
- なぜ陸でも生きられるかというと、エラだけでなく皮膚からも呼吸しているからだと言われています。
- トビハゼはムツゴロウの子供とも思われていることも多いのですが、実は、見た目やエサなどがちがっています。

【ムツゴロウ】



■歩き方：干潟をはうように歩く

■エサ：泥にまじった小さな藻を食べる

【トビハゼ】



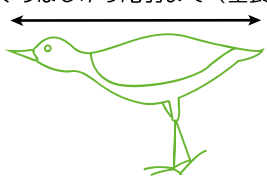
■歩き方：干潟をはねるように歩く

■エサ：肉食で、昆虫やカニを食べる

# 干潟の生きもの **鳥のなかま**

大ききの測り方

くちばしから尾羽まで（全長）



出てくるマーク

渡り鳥がみられる時期をあらわしています。



『留』は留鳥といって一年中みられる鳥のこです。

観察できる場所

観察できる場所を地図で紹介しています。



例：【マガモ】

## タカのなかま

下からみると白っぽい



留

胸に茶色い帯がある



ミサゴがみられる場所

【ミサゴ】大きさ：54～64cm ★

魚をとって食べるタカのなかまです。トビとちがって下からみると白くみえます。干潟の上空を飛んでいる姿が一年中みられます。

## トピック 【トビ】

大きさ：58～68cm  
海辺でよくみるタカ

のなかまで、体が茶色いのが特徴です。魚の死がいなどを食べます。

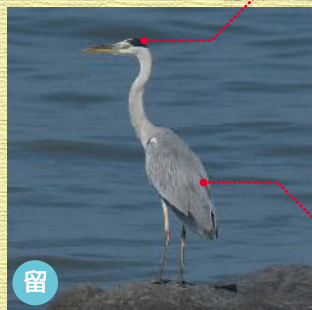
留



下からみると茶色い

**サギのなかま**

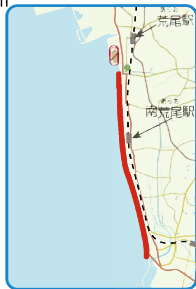
目の後ろは黒い



留

【アオサギ】 大きさ：93cm  
 大きな体のサギです。全体が灰色で、目の後ろが黒いのが特徴です。  
 水辺で一年中みることができます。

羽は灰色



**カモのなかま**

緑色の頭



冬

春

【マガモ】 大きさ：59cm  
 大きな体のカモです。頭が緑色で「アオクビ」とも呼ばれます。  
 冬にやってきて、海辺以外に川や池でもみられます。  
 干潟では水中に顔を入れて海藻などを食べています。



留

夏はくちばしが黒くなる

【ダイサギ】 大きさ：90cm  
 シラサギと呼ばれるサギの中で一番大きなサギです。全体が白く、首と足が長いのが特徴です。  
 水辺で一年中みることができます。

羽は白色



冬

春

茶色の頭 おでこがクリーム色

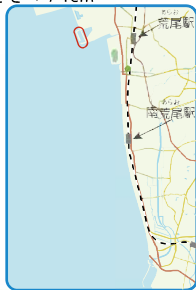
【ヒドリガモ】 大きさ：48.5cm  
 中型のカモで、くちばしが短いです。顔は茶色でおでこがクリーム色なのが特徴です。  
 冬にやってきて、海辺以外に川や池でもみられます。  
 干潟では水中に顔を入れて海藻などを食べています。



冬

くちばしが平べったい

【クロツラヘラサギ】 大きさ：74cm  
 名前にサギとつくけれど、実はトキのなかまです。くちばしがへらのように平べったいのが特徴です。  
 干潟のまわりで、冬にみられます。

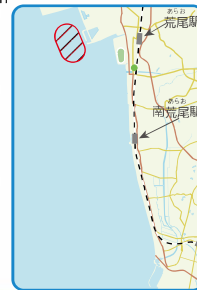


冬

春

背中が灰色 頭が黒い

【スズガモ】 大きさ：45cm  
 海ガモと呼ばれるカモのなかま、水中にもぐるのが得意です。頭と胸が黒く、背中は灰色、おなか白いのが特徴です。  
 冬にやってきて、大群で行動しています。



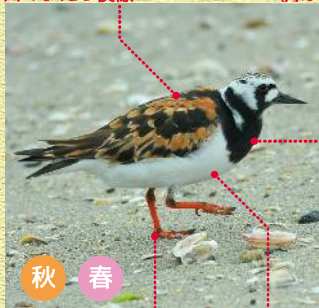
ひがた  
干潟の生きもの **鳥のなかま**

**シギ・チドリ**のなかま

シギ・チドリはみな同じような場所でもらしますが、それぞれにエサや採り方がちがうため、ケンカすることはありません。



せなか  
背中は、茶色と黒と  
白のまだら模様  
むね  
胸は黒い



秋 春  
足が赤い  
おなかは白い

【キョウジョシギ】 大きさ：22cm

石や砂の場所でみられる中型のシギです。くちばしで小石をひっくり返して、カニなどを探したり、砂浜で二枚貝などを採って食べています。

せなか  
頭から背中が赤っぽい



秋 冬 春  
おなかに黒い模様



冬は、灰色の背中に  
白いおなか

【ハマシギ】 大きさ：21cm

砂浜や干潟の水たまりでみられます。干潟を歩き回って、ゴカイや小さな生きものを探して食べます。

顔から首が赤っぽい



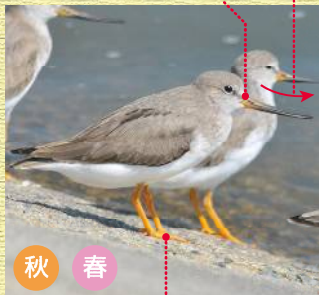
秋 春  
胸とおなかは白い  
冬は背中の黒い  
まだら模様が  
目立つ



【トウネン】 大きさ：15cm

砂浜の波打ちぎわや干潟でみられます。干潟を歩き回って、ゴカイや小さな生きものをつまみとるようにして食べます。

くちばしの根元がオレンジ色 上に反る



オレンジ色の足

【ノリハシシギ】 大きさ：23cm

砂浜の干潟や浅い水辺でみられます。

上に反ったくちばしを水面につけて、カニを探して食べます。

上に反る



秋 春  
頭から胸が赤っぽい

【オオノリハシシギ】 大きさ：41cm

砂浜の干潟や浅い水辺でみられます。

頭を水中に入れたり、くちばしを動かして、カニや貝を探して食べます。



秋 春  
全体が白っぽい

【ミユビシギ】 大きさ：19cm

砂浜の波打ちぎわや干潟でみられます。

波打ちぎわを走り回って、小さな生きものをつかまえて食べます。

おなか  
は  
白い  
体の横は黒い  
しま模様



秋 春  
足が黄色い

【キアシシギ】 大きさ：25cm

砂浜の波打ちぎわや干潟でみられます。

水深の浅い泥地に入って歩き、カニをついで食べます。

# ひがた 干潟の生きもの 鳥のなかま

## シギ・チドリのなかま



目のまわりと頭は濃い茶色

秋 春

くちばしは長くて下に曲がる

【チュウシヤクシギ】 大きさ：42cm

砂浜と干潟でみられます。長くくちばしで泥の中のカニなどをほじり出して食べます。



目のまわりが黒くみえる

秋 春

シロチドリより大きくてずんぐりしている

【メダイチドリ】 大きさ：19.5cm

砂浜と干潟でみられます。歩きながらゴカイなどをみつけて食べます。



頭はオレンジ色

おでこと目のまわりが黒い

【市の鳥】

秋 冬 春



冬は、全体が薄茶色

おなかは白い

【シロチドリ】 大きさ：17.5cm

砂浜と干潟でみられます。急に走ったり、急に止まったりしながら、エサになるゴカイや貝をみつけて食べます。



背中が黒と白のまだら模様

秋 冬 春



顔からおなかまでが黒い

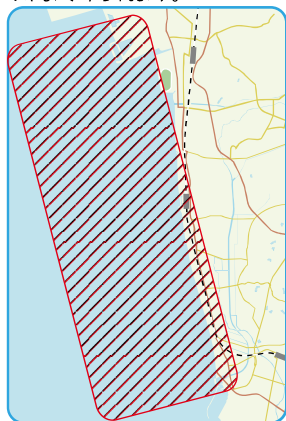
冬は全体が茶色でおなかは白い

【ダイゼン】 大きさ：29.5cm

砂浜や砂泥の干潟でみられます。歩きながら甲殻類やゴカイ、貝などをみつけて食べます。

## カモメのなかま

カモメのなかまは、干潟全体を飛び回っているのがよくみられます。



カモメのなかまがみられる場所



冬

くちばしが赤い

【ユリカモメ】 大きさ：40cm

干潟以外にもよくみられるカモメです。干潟の上を飛んだり歩いたりしながらカニや植物、魚の死がいを見つけて食べます。



冬  
★ ★

くちばしが黒い

【ズグロカモメ】 大きさ：32.5cm

有明海ではよくみられるカモメですが、九州以外ではあまりみられません。カニが大好物で、干潟の上を飛び回りながら、カニをみつけてつかまえます。

**トピック** そのほかカモメのなかま

くちばしの先は、黒と赤の斑紋

留

足は黄色

【ウミネコ】 大きさ：46.5cm

下のくちばしに赤い点

冬

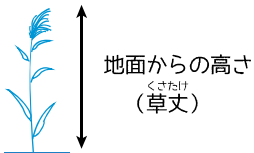
背中が灰色

足はピンク

【セグロカモメ】 大きさ：60cm

# ひがた 干潟の生きもの 植物のなかま

## はか 大きさの測り方



## 出てくるマーク

それぞれの植物が、花を咲かせる季節をあらわしています。



【ハマゴウ】 大きさ：30~70cm

砂浜につるを伸ばして、はうように生えています。夏になると青紫色の花を咲かせます。冬には葉っぱが落ちて、枯れ枝のように砂浜に残っています。

葉っぱは薄くてペラペラ



何本もまとまって生える

【ヨシ】 大きさ：100~300cm

少し淡水がまじる水辺にまとまって生えています。夏から秋にかけてスキのような穂をつけます。



地面にはうように生える



丸い実をつける



冬に葉っぱは枯れる



青紫色の花が咲く

細長い穂をつける



【ケカモノハシ】 大きさ：30~80cm

海岸の砂地に生えます。穂のかたちがカモのくちばしに似ているため、こう呼ばれます。

葉っぱは細くて厚い



【ホソバナハマアカガ】 大きさ：60cm

海岸の砂地に生えます。葉っぱが細く、やや厚いのが特徴です。夏のおわりに目立たない花を咲かせます。

小さい花がたくさん咲く 花は淡い黄色



【ハマウド】 大きさ：100~150cm

海岸の砂地に生えます。茎が太く、葉っぱも大きいのが特徴です。



葉っぱは針のように細く硬い



【オカヒジキ】 大きさ：10~40cm

海岸の砂地に生えます。細い針のような葉っぱは食用にもなります。見た目がヒジキに似ているので、こう呼ばれます。

アサガオのような花が咲く



【ハマヒルガオ】 大きさ：10cm

海岸の砂地に生えます。地面をはうように伸びるのが特徴です。花は1日でしぼんでしまいます。

葉っぱは三角形で少し厚い

黄色くて小さな花をつける

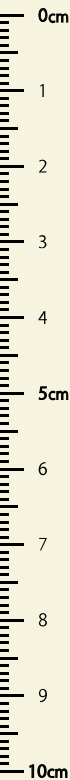
【ツルナ】 大きさ：40~60cm

海岸の砂地に生えます。葉っぱが三角形で少し厚いのが特徴です。若い芽が食用になります。

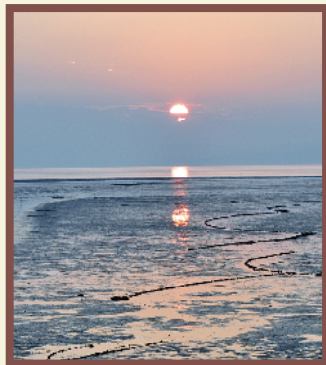




★つかまえた生きものの  
大きさを測ってみよう



あ ら お ひ が た  
荒 尾 干 潟  
生きものハンドブック



荒尾干潟保全・賢明利活用協議会 事務局：荒尾市環境保全課  
〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目390番地  
TEL 0968-63-1386 FAX 0968-63-1376  
E-mail kanpo@city.arao.lg.jp